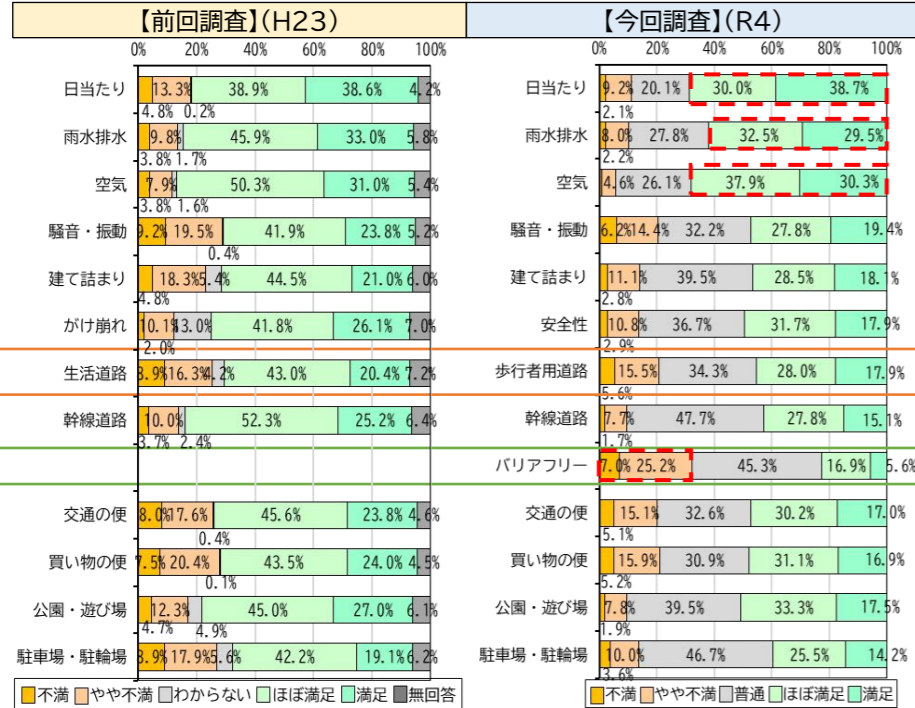


市民意向調査

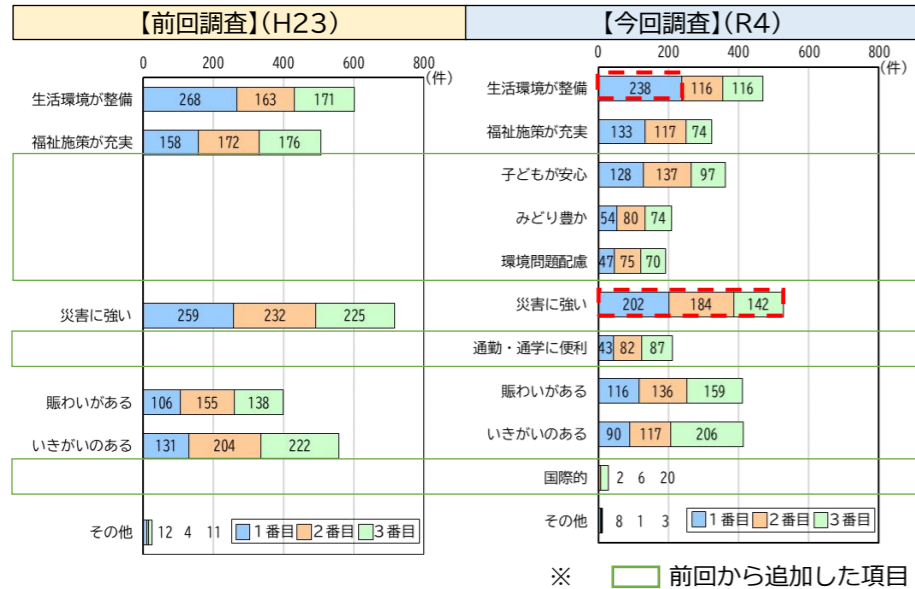
■地域環境について

- 前回、今回ともに「満足」が最も多い項目は「日当たり・風通し」で、「雨水排水」「空気のきれいさ」等の自然環境への満足度が高い。
- 住環境に関する項目は、半数以上が高い満足度だが、「騒音・振動」については「不満」、「やや不満」が2割程度である。
- 「バリアフリー」、「交通の便」、「買い物の便」、「歩行者専用道路」などの生活環境に関する項目で、「不満」、「やや不満」が多く、特に「バ



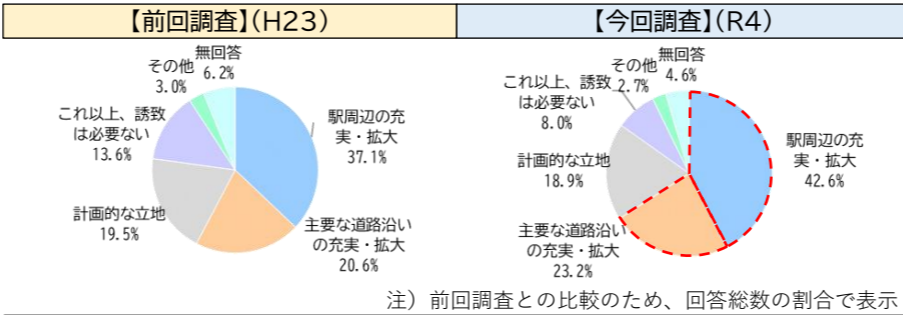
■多摩市に望む将来像

- 前回、今回ともに、「1番目」の回答で最も多いのは「生活環境が整備されたまち」で、1～3番目の回答数の合計で最も多いのは「災害に強い安心して暮らせるまち」となっている。
- 今回調査で新たに追加した項目では、「子どもや子育て中の保護者が安心して過ごせる環境が整備されたまち」が最も多い。



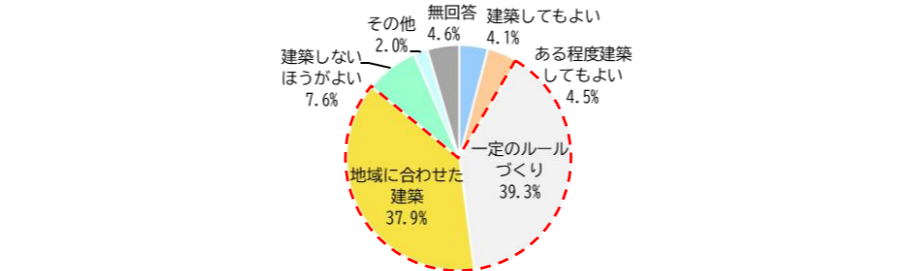
■商業・業務施設の誘致・立地

- 「これ以上、誘致は必要ない」の回答は、13.6%（前回）から8.0%（今回）へ減少している。
- 「駅周辺の充実・拡大」は、37.1%（前回）から42.6%（今回）に、「主要な道路沿いの充実・拡充」は、20.6%（前回）から23.2%（今回）へと増加している。



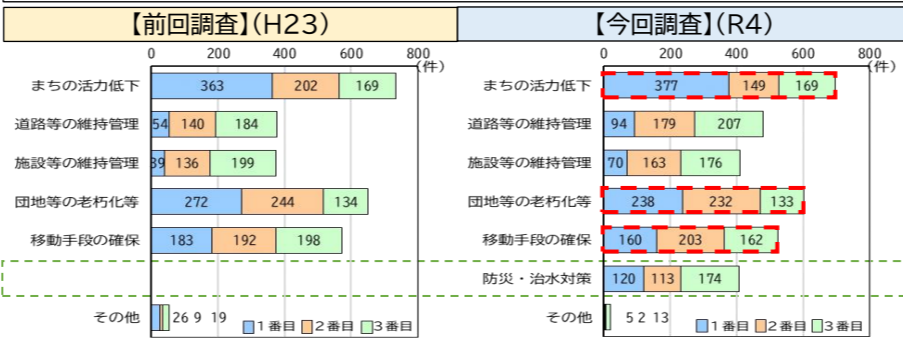
■駅周辺の新規住宅（マンション等）の建築

- 「一定のルールづくりが必要」、「地域に合わせた建築が必要」がそれぞれ約4割と、一定の条件のもとでの住宅建築が望まれている。



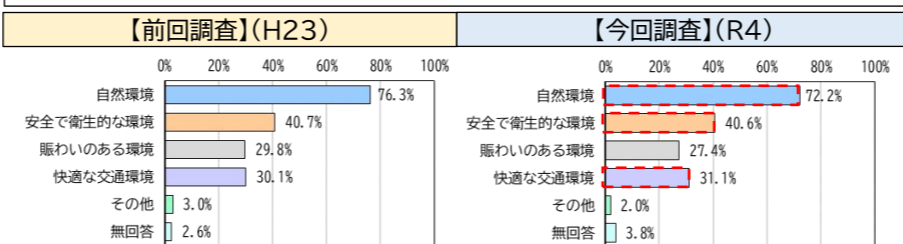
■多摩市のまちづくりで不安に思うこと

- 「人口の減少によるまちの活力の低下」が最も多く、2番目が「団地・マンションの老朽化と建替えの困難さ」、3番目が「買い物・医療・福祉施設等への移手段の確保」となっている。



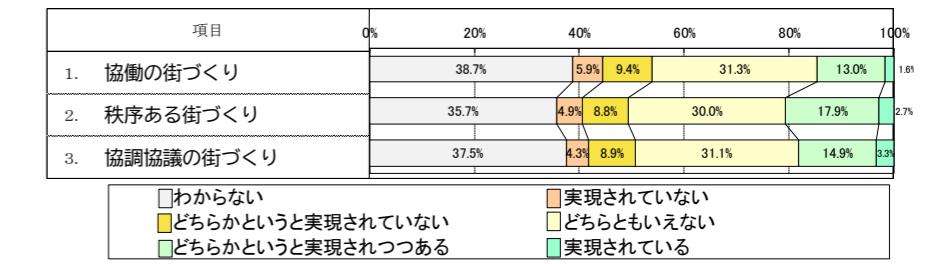
■多摩市の良さとして将来継承したい事項

- 「豊かな緑や、水辺などの自然環境」が最も多く、2番目が「整備と管理がされた、安全で衛生的な環境」、3番目が「鉄道や広い道路など、ゆきとどいた快適な交通環境」となっている。



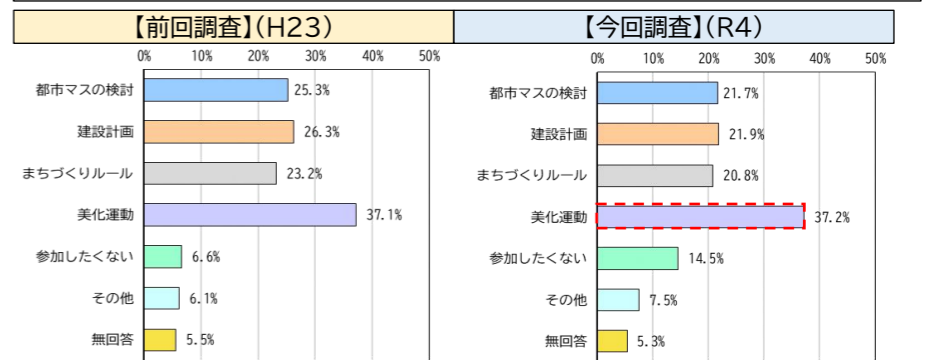
■市政とのかわり方について

- いずれの項目も「わからない」が3割強を占めている。



■参加したいまちづくり

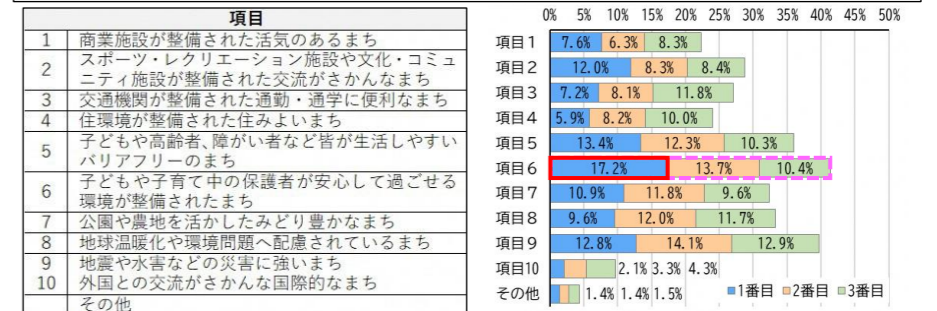
- 参加したいまちづくり活動は、「現在お住まいの地域の、身近な生活環境に関する美化運動など」が最も多くなっている。
- 「まちづくりにあまり関心がないため参加したくない」は、6.6%（前回）から14.5%（今回）と大きく増加している。



中学生アンケート

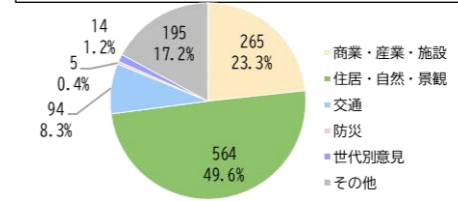
■多摩市の将来像

- 「子どもや子育て中の保護者が安心して過ごせる環境が整備されたまち」が最も多く、2番目が「地震や水害などの災害に強いまち」、3番目が「子どもや高齢者、障がい者などが生活しやすいバリアフリーのまち」となっている。



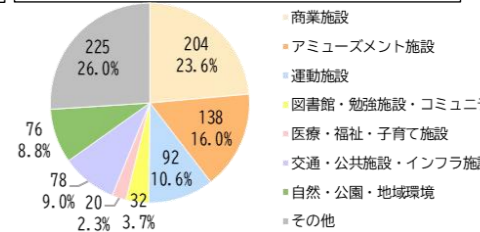
■多摩市の良いところ

- 「住居・自然・景観」、「商業・産業・施設」、「交通」の順に回答数が多くなっている。



■多摩市に望むもの

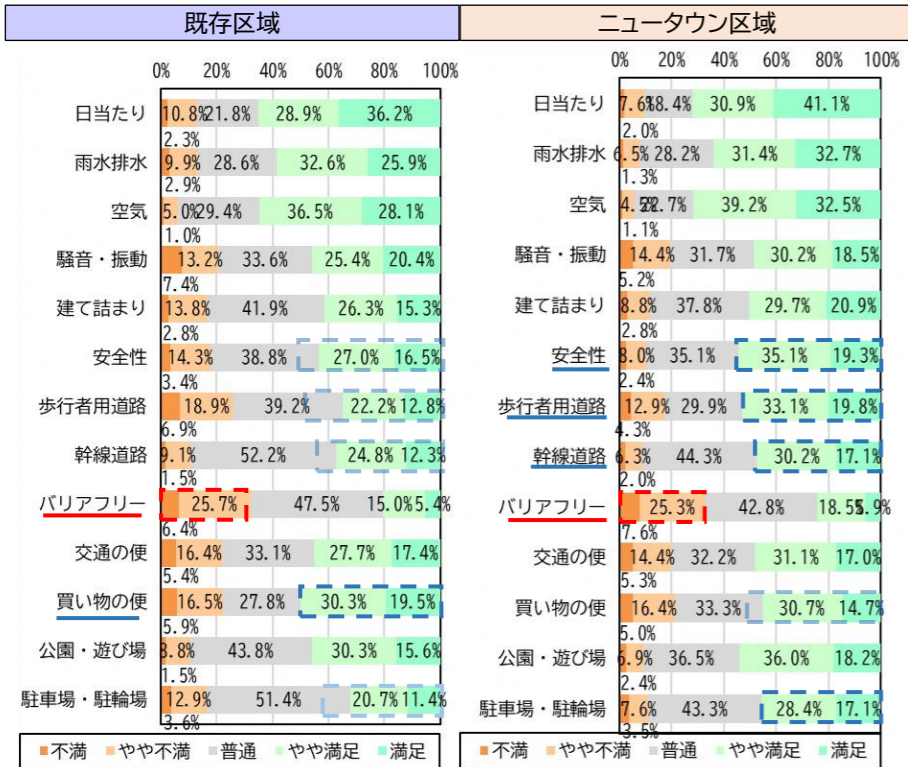
- 「商業施設」、「アミューズメント施設」、「運動施設」の順に回答数が多くなっている。



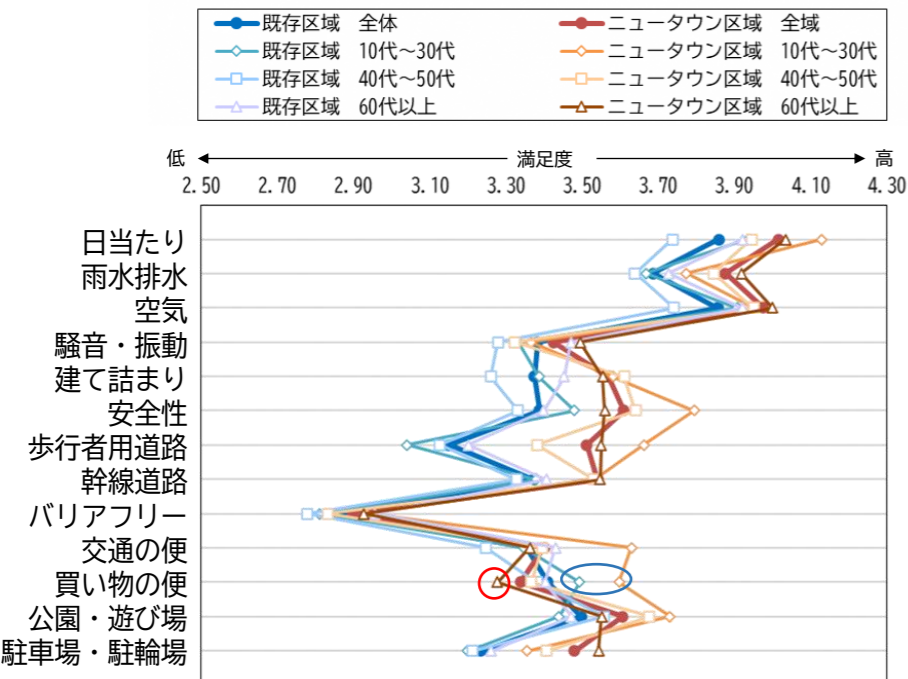
市民意向調査 既存区域とニュータウン区域の傾向

■地域環境について

- 両区域ともに、「**バリアフリー**」に対する不満の割合が最も高い。
- 既存区域では、「**買い物の便**」に対する満足度の割合がニュータウン区域と比較して高い。
- ニュータウン区域では、「**安全性**」「**歩行者用道路**」「**幹線道路**」「**駐車場・駐輪場**」に対する満足度の割合が既存区域と比較して高い。
- 区域別年代別でみると、「**買い物の便**」に対して両区域の10代～30代の満足度は高いが、**ニュータウン区域の60代以上の満足度は低い傾向**にある。



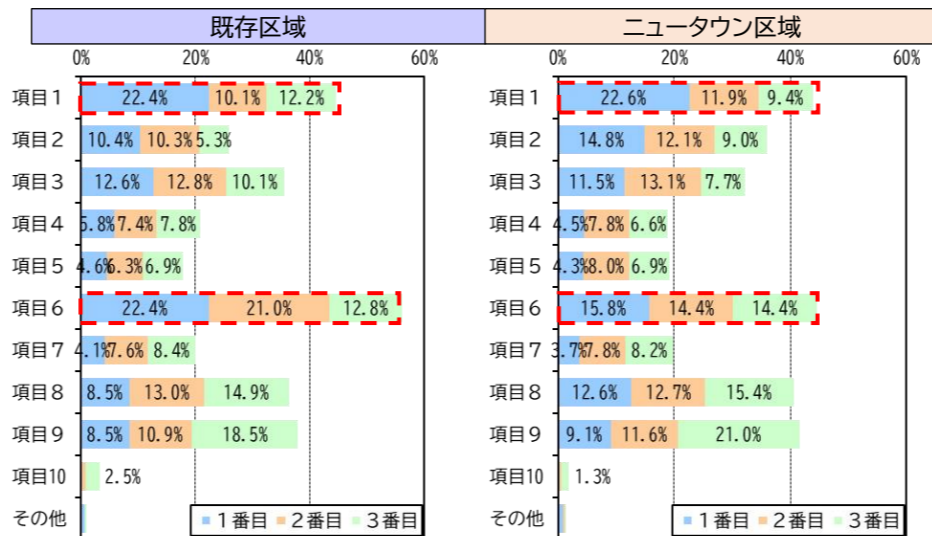
年齢別の既存区域・ニュータウン区域の比較



※点数化(満足:5、ほぼ満足:4、普通:3、やや不満:2、不満:1)した上で項目別年齢別に平均値を算出して比較(ただし無回答は除く)。

■多摩市に望む将来像

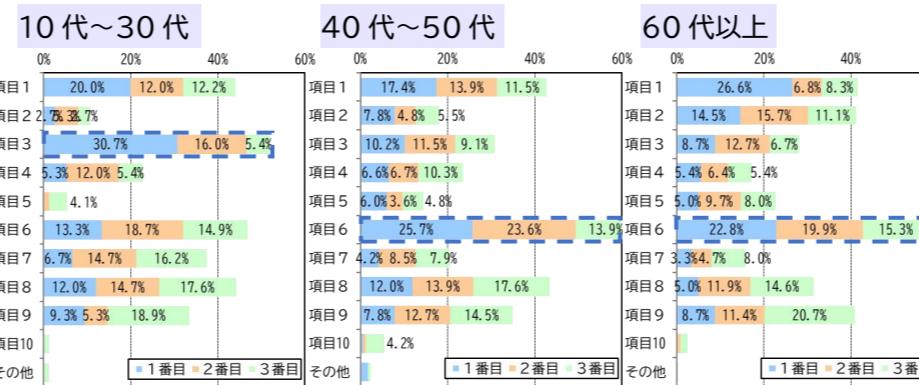
- 両区域ともに、「**6:災害に強い安心して暮らせるまち**」が最も望まれており、既存区域ではその傾向が顕著である。次いで「**1:良好な生活環境**」である。
- 両区域ともに、10代～30代は「**3:子どもや保護者が安心して過ごせる環境**」を最も望んでいる。
- 既存区域の40代以上は「**6:災害に強いまち**」を最も望んでいる。
- ニュータウン区域の40代～50代は「**8:便利で賑わいがあるまち**」、60代以上は「**2:障がい者や老人福祉施策が充実したまち**」を最も望んでいる。



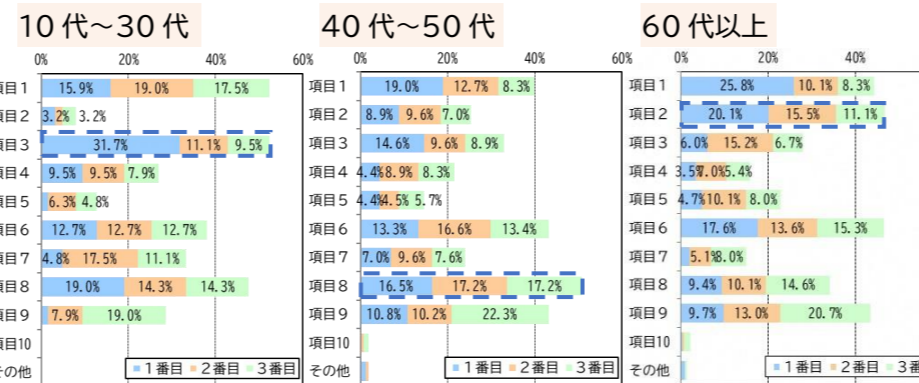
※1番目～3番目それぞれについての項目別割合を積み上げて表示(例:1番目の割合を各項目足し上げると100%となる)

項目	選択肢	項目	選択肢
項目1	良好な住宅地等の生活環境が整備されたまち	項目6	地震や水害などの災害に強い安心して暮らせるまち
項目2	障がい者や老人福祉施策が充実したまち	項目7	交通機関が整備された通勤・通学に便利なまち
項目3	子どもや子育て中の保護者が安心して過ごせる環境が整備されたまち	項目8	商業・業務施設が整備され、働く機会や場所が身近にあり、欲しいものや情報がすぐに手に入る、便利で賑わいがあるまち
項目4	公園や農地を活かしたみどり豊かなまち	項目9	文化・スポーツ施設や教育機関、コミュニティ施設が整備され、若者からお年寄りまで自分に合った活動のできる、いきがいのあるまち
項目5	地球温暖化や環境問題へ配慮されているまち	項目10	外国との交流がさかんな国際的なまち

既存区域【年代別】

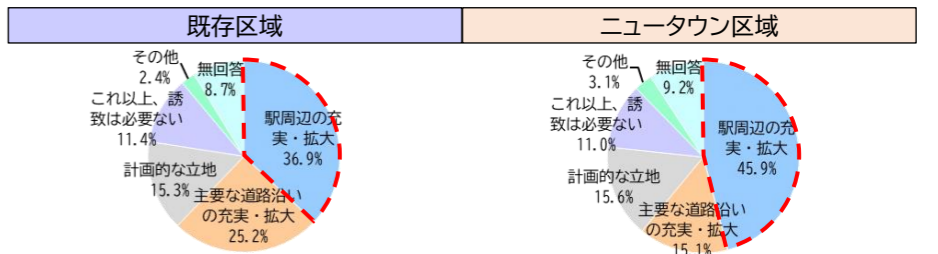


ニュータウン区域【年代別】

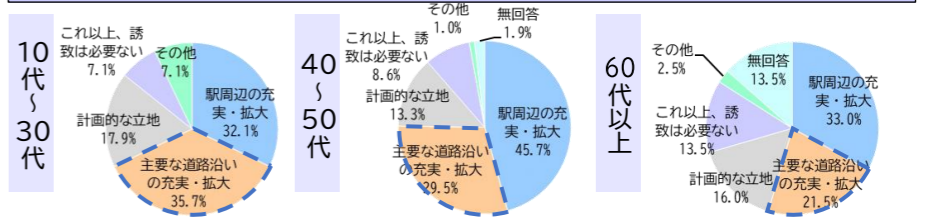


■商業・業務施設の誘致・立地

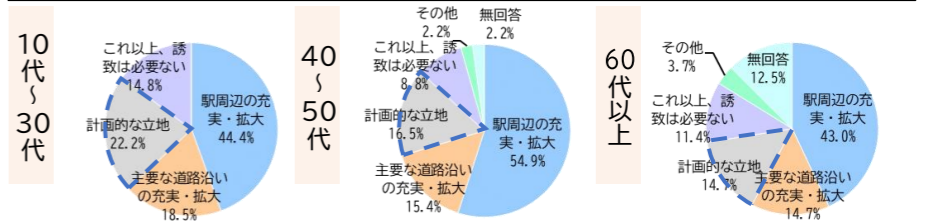
- 両区域ともに、「**駅周辺の充実・拡大**」の割合が最も高く、ニュータウン区域では約半数を占める。
- 2番目に割合の高い項目は、各年代ともに、既存区域では「**主要な道路沿いの充実・拡大**」、ニュータウン区域では「**計画的な立地**」である。



既存区域【年代別】

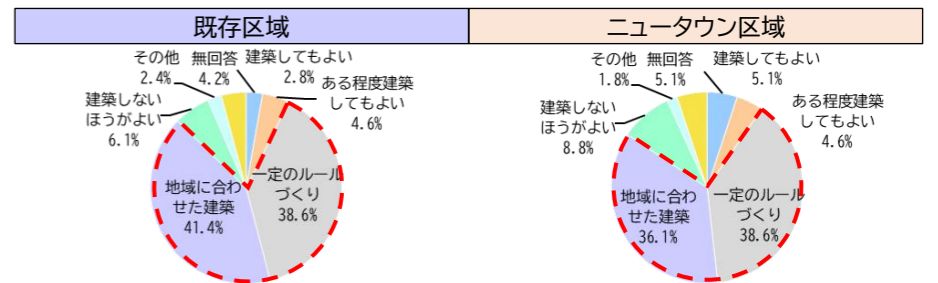


ニュータウン区域【年代別】

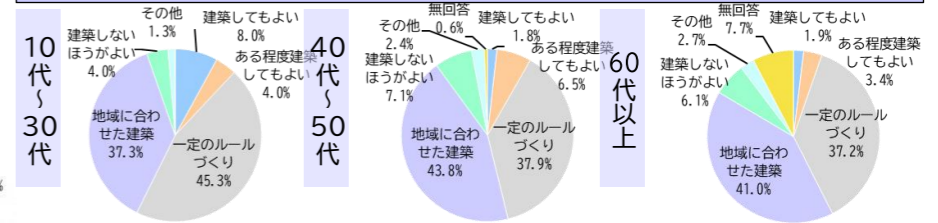


■駅周辺の新規住宅(マンション等)の建築

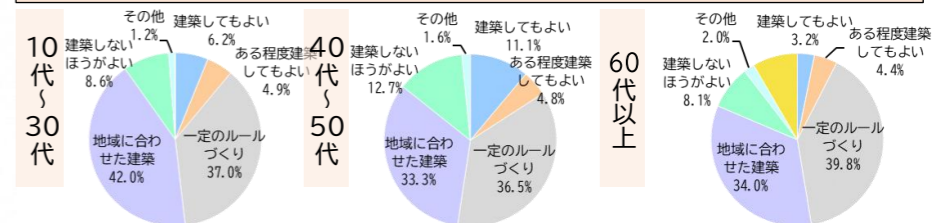
- 両区域ともに、「**一定のルールづくりが必要**」「**地域に合わせた建築が必要**」の割合が高い。
- 年代別に見ても同様の傾向にある。



既存区域【年代別】



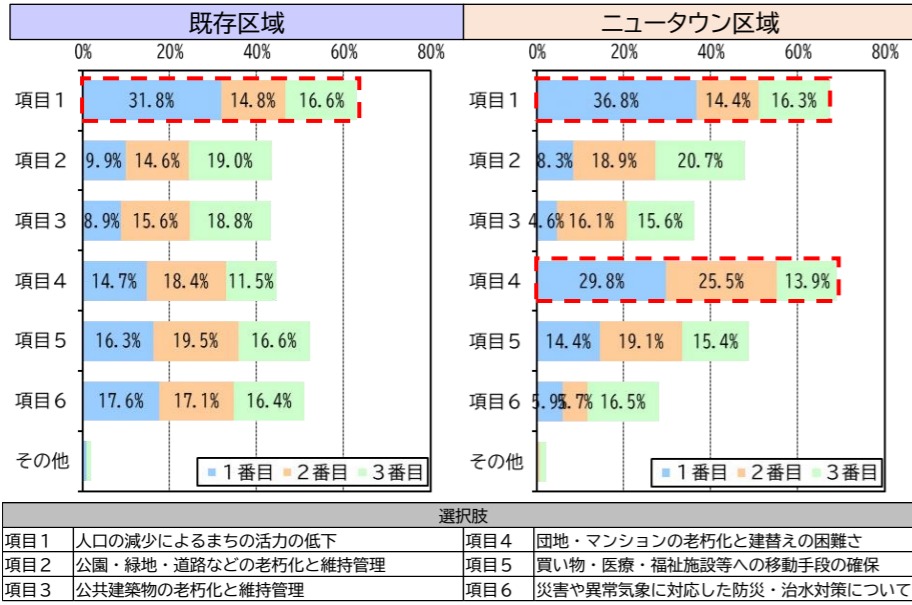
ニュータウン区域【年代別】



市民意向調査 既存区域とニュータウン区域の傾向

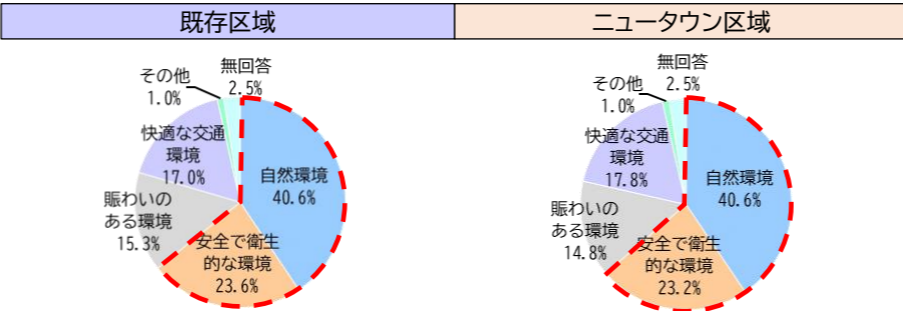
■多摩市のまちづくりで不安に思うこと

- 両区域ともに、「1:人口減少による、まちの活力の低下」が最も不安に感じており、ニュータウン区域では「4:団地・マンションの老朽化と建替えの困難さ」も不安視されている。
- 年齢別では、両区域ともに、年代が高いほど「5:買い物・医療・福祉施設等への移手段の確保」の割合が高く、年代が若いほど「2:公園・緑地・道路などの老朽化や維持管理」の割合が高い。



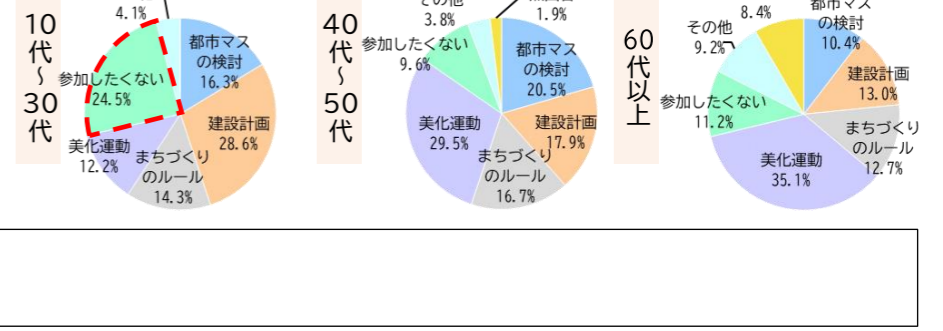
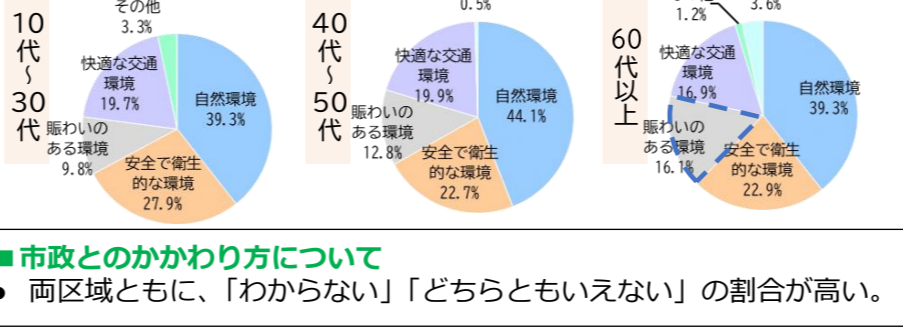
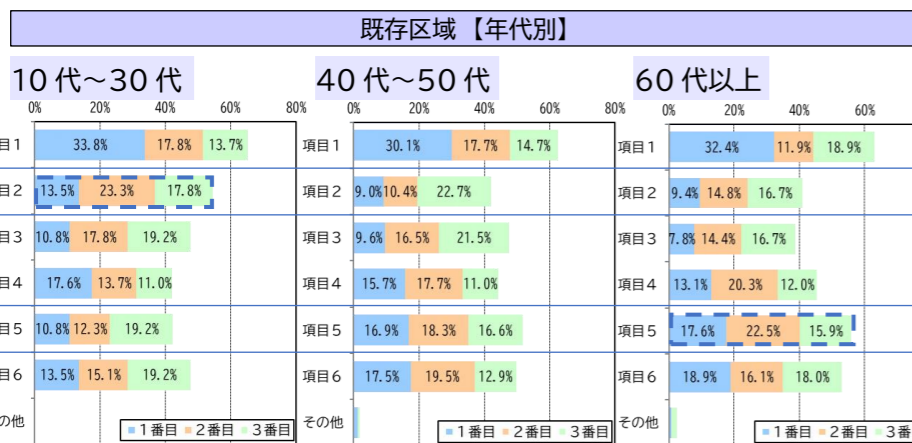
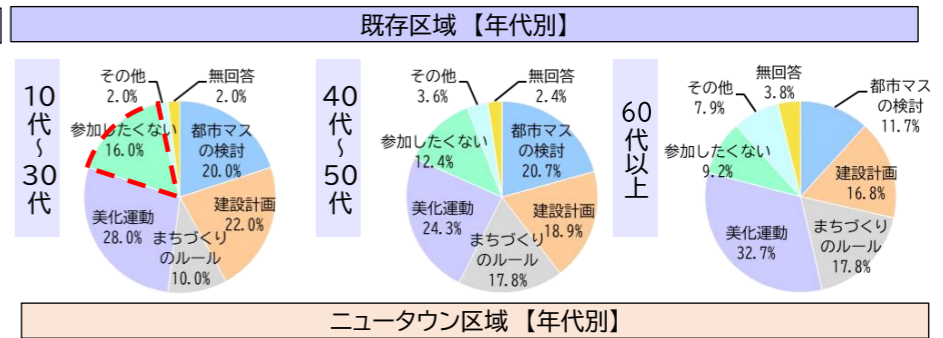
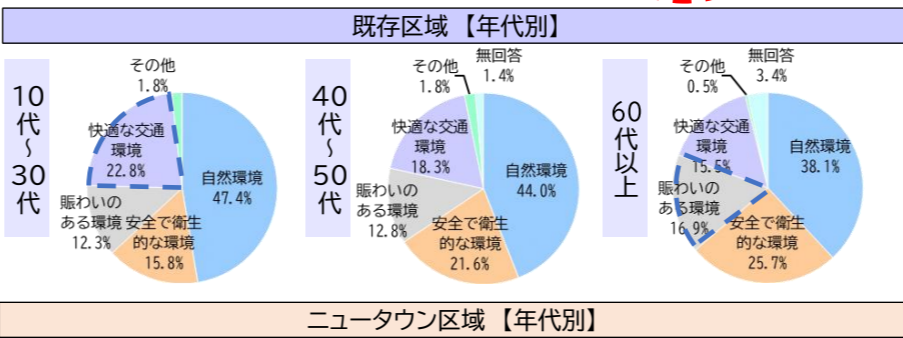
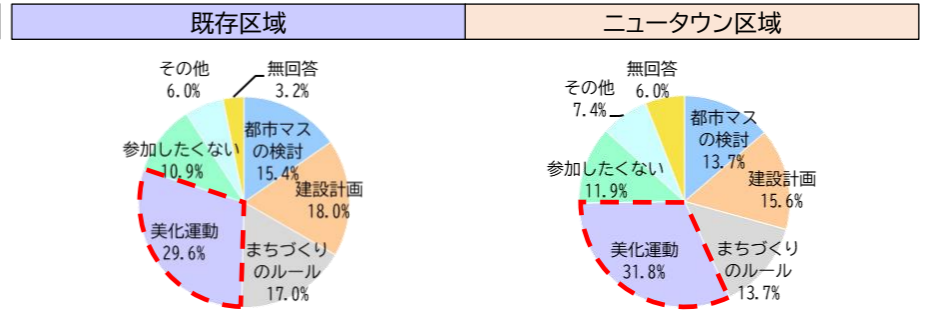
■多摩市の良さとして将来継承したい事項

- 両区域ともに、「自然環境」の割合が最も高く、次いで「安全で衛生的な環境」である。これは、どの年代でも同様の傾向にある。
- その他、既存区域の10代~30代における「快適な交通環境」の割合が他の年代と比較して高い。また、両区域ともに年代が高いほど「賑わいのある環境」の割合が高い。



■参加したいまちづくり

- 両区域ともに、「美化運動」の割合が最も高く、年代別では60代以上の割合がより高い。
- 年代が若いほど「参加したくない」の割合が高く、ニュータウン区域の10代~30代では約25%を占める。



■市政とのかわり方について

- 両区域ともに、「わからない」「どちらともいえない」の割合が高い。

